

「学びの多様化学校基本構想」パブリックコメント提出意見の概要と市の考え方

1 主な意見と市の考え方（令和6年10月31日公表）

	代表的な意見	市の考え方
(1) 基本構想の理念・人権・子どもの意見反映に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見をより丁寧に反映すべきではないか。 ・人権の視点が十分示されていないのではないか。 ・インクルーシブ教育の考え方とどのように整合するのか。 ・基本構想が「構想ありき」で進んでいるように感じる。 	文部科学省の調査結果や、市施設に通う子どもたちから寄せられた声などを踏まえて作成しております。今後も、子どもたちの意思を大切に、一人ひとりに寄り添う学校づくりとなるよう検討を進めます。
(2) 不登校の背景・原因分析に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校が増えている理由の分析が不十分ではないか。 ・現状分析なくして「安心して学べる場」にはならないのでは。 ・今後も増加するとの説明の根拠を明確に示すべき 	不登校の背景は複合的で、多様な要因があります。丁寧に実態を把握し、よりよい支援のあり方を検討します。
(3) 既存の支援や学校との連携に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場への情報共有が不十分ではないか。 ・相談窓口が多く、どこに相談すべきか分かりにくい。 	校長会や担当者会議、ニュースレターなどで情報共有を行っています。今後も連携強化を進めます。
(4) 表現や図表へのご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・図の色分けが子どもや保護者に不安を与える。 ・「登校意欲」という表現が評価的に見える。 	表現や図表については、丁寧な配慮が必要と認識し、改善を検討します。
(5) カリキュラムや体験活動に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が抽象的でイメージしにくい。 ・地域との交流や体験活動を軸にした学びを望む。 	地域との交流や多様な体験学習を重視し、具体化を進めます。
(6) 教職員・専門職の配置に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の学びやケアには人員が必要。 	充実した教職員・専門職配置に向けて検討を進めます。
(7) 学級規模・少人数化に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・25人では多く、20人程度が望ましい。 	少人数化の取り組みを進めており、ご意見を踏まえて検討します。
(8) 入学対象・手続きに関して	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から直接入学を可能にするなど、柔軟な入学手続きを望む。 	入学要件や手続きは、ご意見を踏まえて検討します。
(9) 立地・アクセス・通学支援に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスが難しいのでは。 ・スクールバス等の通学に関する支援を望む 	通学手段や費用負担について検討します。
(10) 家庭・保護者支援に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・「親の会」が必要ではないか。 	福祉分野と連携しながら支援の在り方を検討します。
(11) 心のケア・安全配慮に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・まず心のケアが必要。 	安心して過ごせる環境を最優先に支援を検討します。
(12) 跡地選定・施設活用に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校なのに小学校跡地を使う理由が不明瞭。 	既存の跡地活用計画に基づいています。丁寧に説明していきます。
(13) プログラム提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ボードゲームを活用した支援が有効では。 	今後の学校運営の検討に活かします。